

# ドリーム ~ DREAMS COME TRUE ~ No. 14

(広島市立落合中学校第1学年・学年通信)

平成19年11月2日版

## 合唱祭・落中ギャラリーを終わって！

去る10月26日(金)。大成功のうちに合唱祭・落中ギャラリーを閉会しました。最優秀賞、優秀賞、優良賞とその結果が出されはしましたが、それまで仲間とともに一生懸命頑張ったという取り組みは、何事にも代え難い貴重な経験であったと思います。当日、多くのみなさんに参加していただきました。ありがとうございました。今回はほんの一部ですが、生徒の感想を掲載したいと思います。(生徒の文章をほとんど原文のまま掲載。)

やっぱり、一番感動したのは、結果発表の時、「1年1組 最優秀賞」とアナウンスされたときでした。今まで、朝早くから、放課後と、一生懸命やってきたかいたががあったと思います。途中、男子と女子がバラバラになりかけたけど、何とか一つにまとまり、樫本先生ご指導のもと、とてもいい怪獣のバラードが完成したと思います。樫本先生には、本当に感謝しています。それから、三年生、二年生の先輩方を見て、ものすごい迫力を感じました。特に三年一組の「流浪の民」は本当に良かったです。来年も今年のように盛り上がって楽しい合唱祭にしたいです。

今日の合唱祭ではすごくきんちょうしました。初めての合唱祭だったし、いつも練習しているときはおおぜいの人だっていなかったから、すごくドキドキして「ここからにげたいな」と思いました。発表のときはめっちゃめっちゃ足がふるえたし、どうすればいいか分かんなかったぐらいです。でも、ずーっと歌っていると後からきんちょうもほぐれて、さいしょのときより大きな声でいえました。・・・でも一回まちがえてしまいました。吹奏楽部の演奏はとてもよかったし、ルパンが一番おもしろかった。

自分たちがトップバッターだったから正直プレッシャーがあった。トップバッターでメロディーのソプラノが歌えなかったら、パートリーダーである私の責任とも考えた。でも、心の奥ではみんなの事を信じていた。その分結果もついてきたしみんなを信じて本当によかった。合唱祭の練習は正直ものすごくつらかった。みんな言うことは聞かないし、話し始めるし、どっかいくし e t c . . . 。などなどあって「なんでパートリーダーやったんじゃろー」とかって毎日悩んでた。悩みすぎて学校に行きたくないとも思ったりひどいときはヒステリックになって人にあたっていた。でも、みんなを信じて頑張った結果優秀賞というすばらしいものが取れたんだと思う。仲間を信じて良かったと心から思う。吹奏楽部だから演奏もしたりした。三年の先輩が引退だったし、なんかいろいろな思いがあふれた合唱祭だった。来年は、歌でも吹奏楽でも成長したところを見せたい。歌はやっぱり最優秀賞を取りたい！！吹奏楽では夢のドラムをたたきたい！！(笑い)

感動した場面は、吹奏楽部の演奏が感動しました。印象に残った人はA君です。それはきんちょうせず、しきしゃをしていたからです。合唱祭までの取り組みの中で最初はみんな声もでてなかったし、まじめに歌ってなかったけど、練習するにつれみんなうまくなってきました。先輩の姿を見て、みんなやるときにはやるということができていてすごかったです。さすが二、三年生だと思いました。終わったときの感想は、練習のせいかがでて良かったと思いました。先輩たちにはかなわないけどのびのび歌うことができて良かったです。来年の合唱祭は今年の三年生の様に、やるときにはやって大きな声をだして感動する合唱祭にしたいです。

# 芸術鑑賞せまる！！

文化的行事が目白押しのこの季節。今度はいよいよ芸術鑑賞です。すでにご案内しておりますが、今回は、**ちょっと、ちょっと、ちょっと！大切なことを確認します。**

実は、今回の芸術鑑賞は、落合中学校単独で開催するものではありません。複数の中学校が、アステールプラザの大ホールに集まって鑑賞するものです。一年生は落合中学校に入学してから今までに、一年生全体として他校と接することはありませんでした。初めての経験となるんです。「(多くの中学生が1つの会場に集まった時)お互いを理解し、尊重しながら初対面の同級生たちと共に過ごせる落合中1年生であってほしいと思います(事前学習資料より)」。

このことは、つまり、「落中ブランドを世に広める」(ちょっと大げさかもしれませんが)絶好の機会になるということです。逆に、そのブランドを地につけてしまうかもしれないわけです。榎本先生が一度全体の場で話されたことをおぼえています。=「やっぱり落中生じゃね！」はその場の状況やイントネーション、話し方によっては「すばらしい」という意味になったり、「だめだ、つまらん」という意味になったりするんだ。君らはどっちになりたいか！！=当然前者でありたいものです。

以下は「やっぱりすばらし落中生じゃね(^\_^)v」になるための心構えについて書き留めたものです。ご家庭での団らんのひとときにも、是非話題にしてほしいと思います。

## 【服装・身だしなみ】

やはり第一印象は大切です。だらしない格好や制服の域を超えた「着こなし」は、相手に対して不快感を与えてしまいます。先日、あるテレビ番組で、「おすぎのファッションチェック」で、高校の制服の着こなしをチェックする事がありました。その中で、おすぎさんはこういっていました。「制服はきちんと着るのが一番かっこいい。何？だらしない！。特にあなたのベルト。制服には似合わないわね~。」「 ”身だしなみ” や ”服装” は、自分を判断される大きな基準である」(事前学習資料より)ことを忘れないでほしいと思います。

## 【会場でのマナー】(事前指導資料より)

会場では大きな声で話さない。

会場内では走らない、ふざけて遊ばない、追いかけてっこをしない。

観劇中は観ることに集中し、私語をしない。(一生懸命の演技には、一生懸命観ることで答えるのが常識！)

ゴミを出したりしない(お菓子の袋や不要物が出ることは言語道断！)

劇が終わっても勝手に席を立たない。

是非、この芸術鑑賞が、落中1年生団のよりよき成長の思い出になるよう期待しています。

## 返信欄より (一部ですが、ご紹介させていただきます。今回もご寄稿していただき、ありがとうございます。)

楽しみにしていた合唱祭も無事に終わりホッとしています。”声がでない”と聞いていましたが、予想以上に頑張っていてうれしく思いました。

落中の制服は高陽地域の中ではいちばんかっこいいなと思います。(男子のズボンがゴルフにでもいけそうですね。)女の子はスカート丈を短くするのがおしゃれと思っているかもしれませんが。。。

----- キリトリセン -----

返信欄 No 14

1年 組 名前